

中小企業あきた

1 地区別組合代表者懇談会を開催！ 1

2 国土交通省東北地方整備局へ要望書を提出！ 4

| | | | |
|---------------------|---|-----------------|----|
| ○中小企業組合等支援施策情報..... | 4 | ○話題の広場 | |
| ○景況レポート8月分..... | 5 | 中央会事業より..... | 6 |
| ○組合相談コーナー..... | 6 | アラカルト..... | 8 |
| | | インフォメーション..... | 9 |
| | | 支援団体活動レポート..... | 10 |
| | | 組合ティールーム..... | 10 |

10
OCTOBER
2011

TOPICS 1 地区別組合代表者懇談会を開催！

トピックス SPECIAL FEATURES



【秋田会場『工業関係(左)』と『商業関係(右)』の様子】

本会では、8月23日(火)から9月21日(水)まで、県内7地区8会場で「地区別組合代表者懇談会」を開催しました。

今月は、前月号に引き続き、8月23日以降に7会場で行われた懇談会で出された主な意見・要望の概要をご紹介します。

【秋田会場(工業関係)】

- 食・農・観連携や6次産業化の推進等の動きがあるが、誰がイニシアチブをとって進めているのか見えない状況である。関係各所の意思統一が必要である。地域の特性と事情を把握した上で進めて欲しい。
(菓子製造)
- 全国各地で県産材の利用を推進しているため、震災の対応でも、秋田県の木材を岩手県で使ってもらえなかった。「県産材の利用」ということでなく、「国産材の利用」を推進するようお願いしたい。
(木材)
- 東日本大震災以降、公共工事関連予算が大幅に削減され、先が見えない状況である。予算の削減を最小限に留めて欲しい。
(建設)
- 新分野への進出や新規事業に対する補助事業は充実しているが、既存事業に対する補助事業が少ないことから、既存事業でも活用できるような県の補助事業の構築を要望したい。
(工業団地)
- リフォームに対する県・市等の助成事業は個客にも喜ばれており、効果があったと思われる。引き続き、実施して欲しい。
(管工事・リフォーム)
- 建設・電気・管工事の3団体で、由利本荘市に対し来年度の工事受発注に関する要望書を提出する予定であるが、その際は協力頂きたい。
(管工事)
- 公共工事に関する工賃単価が年々減少している。低価格入札は不良工事を招くことから、適正な価格で入札ができるように、的確な単価調査等による評価を実施して欲しい。
(管工事・葺土木)
- 食品関連の商品開発に関する補助事業については、事業期間が短い。最低でも1~2年のスパンで考えて欲しい。
(製麺)
- 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法へ対応するための勉強会を開催したいと考えているが、その際は支援して欲しい。
(電気工事)

- ・ 電子入札制度により、価格が一人歩きし、価格低下に歯止めが掛からない状況である。低入札価格に対する調査の厳格な運用を図ってもらいたい。また、分離・分割発注制度の更なる促進をお願いしたい。(印刷)
- ・ 公共工事については、冬期に行われることも少なくないが、冬期になると配送に時間を要してしまう。生コンクリートは、90分以内に型へ注入しなければならず、早期の予算執行による冬期間を避けた工事をお願いしたい。(生コンクリート)
- ・ 東日本大震災発生時、県外からの物流はストップし、原材料やガソリンの確保が大変であった。中央会の会員組合を結集し、災害時に物資供給が可能になる仕組みを作って欲しい。(パン)

【秋田会場(商業関係)】

- ・ 中心市街地の再開発が進んでいるが、開発の規模については、秋田県にあった開発をして欲しい。(商店街)
- ・ 昨年度より、中央会からの支援を受け、若手の育成事業を実施しており、大変役立っている。今後も引き続き支援をお願いしたい。(花卉)
- ・ 一昨年、中央会の協力により、災害に関する業務提携について県に提案したきりそのままとなっている。今後、災害に関する業務提携を行っている被災県の状況を聞き、具体的な内容を盛り込んだ段階で再度話合いの場を設けたいので、その際は支援をお願いしたい。(葬祭)
- ・ 競争入札について、落札価格が低すぎて対抗できない、他県では、少額なものであれば組合へ発注するという仕組みもあることから、検討して欲しい。オール電化・太陽光等、勉強会を行いたいと考えており、その際は支援して欲しい。(家電販売)
- ・ 地方市場化に伴い、市場の維持管理は、別会社で行う方向となっており、今後の組合のあり方を考えているところである。中央会には、引き続き、アドバイスをお願いしたい。(市場)
- ・ 街区内でイベントを実施しているが、協力しない組合員が見受けられる。参加意識の高揚を図るためのアドバイスが欲しい。(商店街)
- ・ 家電エコポイント・住宅エコポイント制度実施期間中は、ポイントの交換商品として商品券が利用される機会が増えたことから、もう一度実施して欲しい。(ポイントカード)
- ・ 地域振興局が実施している観光商品の開発等については、当業界にとって心強いが、企画する場合には業界の活用をお願いしたい。(旅行)
- ・ 6次産業化は、地域の活性化にも繋がることから更なる支援をお願いしたい。また、高齢者対策についても、更なる推進をお願いしたい。(たばこ)
- ・ 県内中小企業の中でも、とりわけ小規模事業者に対して光をあてるような事業の構築をお願いしたい。(卸団地)

【大館会場】

- ・ 卸団地の道路が損傷しているが、補修する財源が無く困っている。市に寄付したいので受けて欲しい。寄付が受けられないなら、市で補修して頂けないか。公設市場と隣接しており、市場の利用車両が進入するため道路が傷むので市で補修してもらいたい。(卸団地)
- ・ 新たなイベントを企画しても、現在ある補助制度では対応できないので、制度の改正を検討して欲しい。(商店街)
- ・ 緊急雇用創出臨時対策事業を活用し空き店舗を利用して体験工房を行っているが、来年3月で終了する。継続できるように大館市に要望書を提出しているので支援をお願いしたい。(伝統工芸)



【大館会場の様子】

【横手会場】

- ・ 横手市中小企業等融資斡旋制度で行われている利子補給等の制度については、本年度終了ときいているが、是非、延長をして欲しい。(葬祭業・商店街・電気工事)
- ・ 物流ネットワーク強化のため、秋田道の横手・大曲間にスマートインターを設置して欲しい。併せて4車線化、山形県と秋田県の高速ネットワーク化を要望したい。(卸団地)
- ・ 当社では、今年、高卒の新卒者を5名採用した。以前は、半年もすればある程度一人前になり作業をこなせるようになっていたが、最近の人は、1年掛かってしまう。地域振興局が実施している『ものづくり人材の育成』については、企業と一緒に真剣に取り組んで欲しい。(縫製)

- ・ 秋田県のキャンペーンで宿泊補助券を配布したが、その効果は、人気の宿にのみ集中した。事業を構築するには、職員が考えるのではなく、自助努力が実るように民間の専門家を交えて構築して欲しい。(旅行)
- ・ 事業承継や障害者雇用・高齢者雇用に関する補助的な制度があれば教えて欲しい。(納豆製造)
- ・ 国や県・市が実施している補助事業の補助率を上げて欲しい。また、ハードへの補助金だけではなく、ソフトへの補助金をお願いしたい。(商店街)
- ・ 緊急雇用対策制度により、1名を雇用しているが、今年10月で終了してしまう。延長をお願いしたい。(商店街)
- ・ 震災直後、燃料供給の確保に、難儀した。確保できる体制の構築をお願いしたい。(運送)



【横手会場の様子】

【鹿角会場】

- ・ 新しいシステムの構築についての勉強会に市の担当者にも入って欲しい。(ポイントカード)
- ・ 外国人技能実習生の厚生年金保険及び雇用保険の加入について、特例措置を設ける等、改善をお願いしたい。また、外国人技能実習生受入制度は、事務手続き等が煩雑であることから柔軟な対応をお願いしたい。(縫製)
- ・ 少額発注を地元業者へ発注するよう要望したい。(運送)



【鹿角会場の様子】

【能代会場】

- ・ 外国人技能実習生を受け入れしている組合であるため、組合員企業の若手の従業員に対して、中国語や英語を身につけられるように語学研修をやって欲しい。(縫製)
- ・ 商売の基本として、人口減少や流出が止まらないのが一番困る。せつかく、全国一の学力の子供達がいるのに県外に流出するのを何とか防止できないか。(縫製)
- ・ 電気工事士の国家試験の合格が難しく、資格取得を条件とするとなかなか就職出来ない状況にある。そのため、技術水準に応じた弾力的な資格制度により、採用が推進されるよう検討して欲しい。(電気工事)
- ・ 融資制度については、無担保と書かれていても、実際は、担保を求められるなどの状況があるので、融資条件を緩和してほしい。(葬祭)
- ・ 4月1日より、秋田県発注の工事にフライアッシュコンクリートを組み込んでもらったが、期間限定の対応となっており、通年で使用してもらえるようお願いしたい。また、秋田地域の工事にもフライアッシュコンクリートを使ってもらおうようお願いしたい。(生コンクリート)



【能代会場の様子】

【大仙会場】

- ・ 秋田市で、防犯灯2万灯をLED化することを決めたと聞いているが、大仙市でもLED化を検討して欲しい。その際は、当組合の活用をお願いしたい。(電気工事)
- ・ 分離・分割発注について低価格入札が多く、市側から最低価格を明記して欲しい。(電気工事)
- ・ 地デジ化に伴い、忙しい状態が続いたが、逆にその忙しさから、LED化や太陽光発電への対応が遅くなってしまった。今後、勉強会を開催したいと考えているので、その際は支援して欲しい。(家電販売)
- ・ 高速の無料化については、一瞬だけ夢を見たが8月末中止となった。無料化が無理なのであれば現在の制度の割引率を上げて欲しい。(運送)
- ・ ハイブリッド車の増加へ対応するため低電圧等の研修会を開催したいと考えているので、その際は支援して欲しい。(自動車整備)



【大曲会場の様子】

9月27日(火)、本会の塩田会長が東北地方整備局を訪れ、川瀧道路部長並びに津田港湾空港部長をはじめ担当官と面談し、「高速道路ネットワークの早期整備促進についての要望書」及び「秋田港の日本海側拠点港への選定と整備促進についての要望書」を手渡しました。

要望書の概要は以下のとおりです。



【要望書を手渡す塩田会長(右)と川瀧部長(左)】

○「高速道路ネットワークの早期整備促進について」

- (1)日本海側を含む東北地方の高規格幹線道路網の整備については、東日本大震災からの復興、日本海側道路網のリダンダンシー強化の観点から、特に予算を重点配分し、整備を促進すること
- (2)未開通となっている「日本海沿岸東北自動車道(遊佐～象潟間・二ツ井白神～あきた北空港間)」及び「東北中央自動車道(新庄北～雄勝まち間)」については、ミッシングリンク解消へ向け、社会資本整備審議会で整備手法を明確にするとともに、早期に事業化を図ること
- (3)現在事業中の「日本海沿岸東北自動車道(大館北～小坂間・大館西道路・鷹巣大館道路・仁賀保本荘道路・象潟仁賀保道路)」及び「東北中央自動車道(院内道路)」については、東北全体の復興へ向けた縦軸、横軸の物流ルート確保の観点からも、整備のスピードを前倒しし、早期完成を図ること
- (4)間隔の離れているインターチェンジ間には新たなインターチェンジを設置するなど、一般道路との連携強化を図ること
- (5)片側一車線で暫定開通している区間について、二車線化を促進すること

○「秋田港の日本海側拠点港への選定と整備促進について」

- (1)環日本海地域の国際物流拠点として「日本海側拠点港」への選定と整備促進を図ること
- (2)港内の静穏度確保に向けた防波堤の延伸及び飯島埠頭の地域防災拠点としての整備促進を図ること

【今月のキーワード】『「リダンダンシー」・「ミッシングリンク」とは?』(国土交通省ホームページより)

リダンダンシー (redundancy)・・・「冗長性」、「余剰」を意味し、自然災害などによる障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な状況を示します。

ミッシングリンク (missing link)・・・幹線道路などの交通ネットワークの欠落区間のことで、秋田県では、日本海沿岸東北自動車道の象潟～山形県遊佐間等の未開通区間が該当します。

中小企業組合等支援施策情報

■電力需給対策高度化事業のご案内

独立行政法人中小企業基盤整備機構では、都道府県と協調して組合の施設・設備事業に対する長期・低利の貸付け(高度化事業)を実施していますが、この度、当面の重要課題である電力需給対策として、以下のとおり、同事業の拡充を行いました。是非ご活用下さい。

1 貸付制度のポイント

- (1)貸付対象事業費：省エネ・新エネ・自家発電等の設備導入に要する費用
- (2)貸付期間：20年以内(据置期間5年以内)
- (3)資金負担・事業者負担額：貸付対象事業費の1%又は10万円のいずれか低い額
・都道府県負担額：貸付対象事業費の1%又は100万円のいずれか低い額
- (4)貸付金利：1.05%(平成23年度の場合)(※貸付期間中は固定金利)
- (5)措置期間：平成26年3月末までに貸付決定を行ったもの

2 対象者：事業協同組合及びその組合員等(今後設立予定の場合でも可能です)

3 対象事業：省エネ・新エネ・自家発電等の設備を導入する事業

(例)省エネ・新エネ等の設備の一例 省エネ型製造機械、太陽光発電設備、ディーゼル発電機等

○当制度の詳細に関しましては、下記までご相談・お問い合わせ下さい。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北支部 地域経済活性化推進部 地域振興課 ☎022-399-9058

景況レポート

(8月分・情報連絡員 80名)

原油高、円高によりD I 値が後退

【概況】8月の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが5.0%(前月調11.3%)、「悪化」が41.3%(同33.8%)で、業界全体のDI値は-36.3となり、前月調査と比較して13.8ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-28.1で前月調査(-9.4)に比べ18.7ポイント下回った。また、非製造業全体は-41.7で前月調査(-31.3)と比較して10.4ポイント下回った。

県内では商業施設、介護施設の建設が活発になっており、住宅着工戸数も6月、7月と前年を上回ったが、景況の改善には至らなかった。

原油高による原材料、資材の値上がりが収益を圧迫しており、また、長引く円高により生産活動の海外移転が促進する可能性も強まっている。
(回答数:80名 回答率:100%)

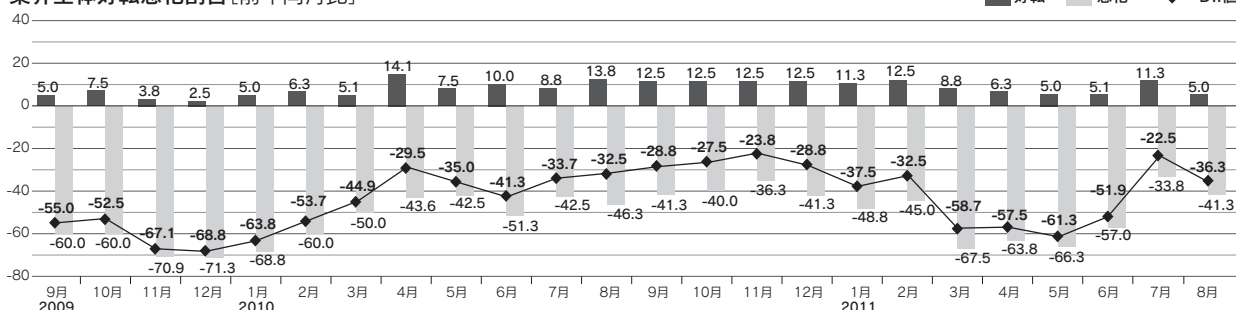
| 項目 | 業界の景況 | 売上高 | 販売価格 | 取引条件 | 資金繰り | 雇用人員 |
|------|-------|-----|------|------|------|------|
| 製造業 | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ |
| 非製造業 | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☔ | ☁ |

【凡例】

 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



業界の声

| | |
|--------|--|
| 菓子製造 | 8月は竿灯、お盆の帰省など人の動きが多い月であり、また、今年は北東北インターハイの開催地となったことから、お土産等の売上が好調だった。 |
| 清酒製造 | 7月の清酒出荷量は、前年同月比98.8%であった。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比111.0%、純米酒が115.7%、本醸造酒が87.5%、レギュラー酒が97.1%となっている。 |
| 繊維工業 | 【ニット】計画停電の実施を見込んだスーパークールビズのキャンペーンが追い風になり、8月単月では昨年より受注量が増加した。円高の長期化により、一旦国内に戻っていた仕事を再び国外に持ち出そうとする動きが出てきている。 |
| 一般製材 | 原木は、国有林材が出回ったことで価格は安定しているが、原木市場や県森連の各共販所は出材量が少なく、低質材の割合も多くなっている。製品市況は、国の優良住宅取得支援制度「フラット35S」制度が9月で終了することから、駆け込み需要に追われているプレカット工場もある。 |
| 鉄鋼 | 公共建物の耐震工事に加え、倉庫・工場の新築、特別養護老人ホーム等民間工事物件の需要も増加しており、9月、10月は工場稼働率100%以上の受注を確保しているが、受注単価は採算割れが続いている状況で、先行きの受注不安もある。 |
| 自動車販売 | 8月の新車販売台数は、登録自動車1,787台(前年同月比100.8%)、軽自動車1,435台(同91.9%)で、合計3,222台(同96.6%)であった。 |
| 石油販売 | ガソリン1ℓ当たり147円で前月比1円引き上げ、軽油1ℓ当たり128円で変わらず、配達灯油は18ℓで1,689円と前月比17円の引き下げとなった。マージンの悪化と減販により苦戦した。 |
| 商店街 | 【秋田市】・家電販売は前月までの3割減となり通常に戻った。他の業種も横ばいか、やや減少であった。 ・震災による自粛ムードは和らいた感はあるが、一般消費は依然買い控え感が強く、消費単価も低い。お盆過ぎは全般的に売上が急激に落ち込んだ。 |
| 管工事 | ・資材がジワジワと値上がりの方向に進んでおり、今後の不安材料となっている。 ・発注量は少しずつ増えているが、土木業者が参入している為、管工事業者が仕事を得にくい状態が続いている。 |
| トラック運送 | 高速無料の恩恵を受けられた会社は収益が好転したが、他は軽油価格の高止まりで苦しんでいる。今後、荷動きが全体的に良くなるかどうかは不透明である。 |

組合相談コーナー 理事・監事が欠員した場合の対応

- Q 理事及び監事が、任期の途中で退任し、定数に欠員が生じた場合の対応について教えてください。
- A 「役員に欠員が生じた場合の措置」については、下記のとおり中小企業等協同組合法（以下、中協法）第36条の2に規定されています。

第36条の2(役員に欠員が生じた場合の措置)

役員が欠けた場合又はこの法律若しくは定款で定めた役員員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまで、なお役員としての権利義務を有する。

役員は、退任するとその地位から離れることとなりますが、直ちに後任の役員が選任されない場合は、組合事業の執行に支障を与えることになるため、新たに選任された役員が就任するまで、役員としての権利義務を有することとされています。これは、退任した役員「残任義務」を定めたもので、役員任期自体を延長させる規定ではありません。

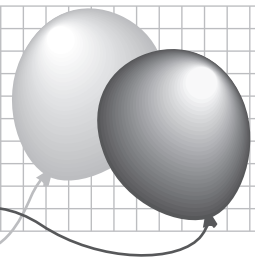
欠員の場合の役員補充は、臨時総会を開催して選任するなど、速やかに行うことが望しく、長期間役員が空席となること望ましくありません。

組合の運営体制や事業の実施状況によって異なりますが、遅くとも欠員が生じた年の次の通常総会では、必ず補充すべきです。

※注意…欠員数が役員定数の1/3を超えた場合は、中協法第35条第7項(役員補充義務)によって「3ヵ月以内」に補充することが義務づけられています。

補充義務に違反すると、組合の理事に罰則(中協法第115条第1項十四号)の適用もありますのでご注意ください。

話題の広場



中央会事業より 第1回組合活力向上事業を実施

協同組合あきた安心リフォーム協議会

9月21日(水)、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、協同組合あきた安心リフォーム協議会(中村瑞樹理事長)を対象とした「第1回組合活力向上事業」を開催しました。当事業は、トラブルやクレームを減らし、当組合の名称でもある「安心リフォーム」を追求するため、施主に対する説明や提案の一助となるような当組合統一のマニュアルを作成し、アウトサイダーとの差別化を図ることを目的に実施しています。



【研修会の様子】

第1回目となる今回は、東京都の住宅リフォーム研究所石原孝司所長を講師に、「統一マニュアルの作成に向けて～トラブル事例とクレーム対応について～」をテーマに講演を頂きました。石原所長は、『お客様は神様であるという表現は、現在は少し違っている。お客様ほど怖いものはないことを十分に認識しておく必要がある。思いも寄らないところからクレームをつけるのがお客様であり、どのようなクレームがあっても、対応ができるような体制を整備する必要がある。そのためには、マニュアルを作成し従業員が同じ意識を持って対応することが重要となる。』と話されました。

グループ創業バックアップ事業『創業塾』を開催!

8月28日(日)、9月4日(日)、9月11日(日)の全3回に亘り、秋田市「秋田県青少年交流センターユースパル」において、グループ創業バックアップ事業の一環として『創業塾』を開催しました。『創業塾』は、創業に向けた意欲の喚起と企業組合制度の啓蒙普及を図るため、県内で創業を考えている方や創業に関する知識を習得したい方を対象に、座学と先進事例を学ぶことを目的に実施しました。



【創業塾の様子】

座学では、横手市の株式会社小室経営コンサルタント代表取締役小室秀幸氏を講師に、「創業についての心構えや具体的な事業計画の作成手法、資金計画(資金繰り)、マーケティング手法等」について学びました。小室氏は、『**起業の始まりは「思い」からスタートする。その「思い」を具現化するためには行動に移していかなければならない。起業の目的や動機、目標を明確していくことが起業の取りかかりとして一番重要なことである。**』と話されました。

起業事例では、青森県で農産品の加工販売を行っている企業組合あおもり万華堂木村喜光理事長より、「change生き方を変える～意志あるところに道は開ける～」をテーマに講演を頂きました。木村理事長は、『**試行錯誤して練り上げた事業計画でも、その通りにはいかない。理想と現実のギャップが大きかったり、売上や収益が増加しないなど、いろんな思いが巡り始める。そのような時は「揺るぎない創業時の思い」に回帰する。起業する際の「なぜ起業するのか」という思いはとても大切なものであり、創業後も絶対ブレることなく心に留めておく必要がある。**』と話されました。受講者は、今後、各自が創業に向けての準備を進め、必要に応じて本会が支援することになっています。

第1回地域活力パワーアップ事業を開催!

9月1日(木)、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、「第1回地域活力パワーアップ事業研修会」を開催しました。当事業は、秋田県内の農産加工グループの課題である販路開拓のノウハウの習得と事業体制の構築支援を図りながら、産業競争力の強化と地域経済の活性化を目的に実施しています。



【研修会の様子】

研修会では、福島県会津若松市で「地域の農産物を地域の消費者に提供する」を理念に掲げ、事業展開を行っている企業組合ばかりん村小林久子理事長より、「農産加工グループにおける加工技術・販路開拓と企業組合の設立について～地元産ジャガイモを使ったブランド商品の開発について～」をテーマに講演を頂きました。小林理事長は、『**企業組合を設立したきっかけは、行政からの支援を受けたいということだった。企業組合は農事組合法人とは異なり、組合員が農民に限定されておらず、簡単に取り組むことができる良い制度である。商品開発については、大手メーカーと同じやり方では、勝ち目がない。当組合では、他社との差別化として無添加商品にこだわり製造販売しており、良い商品であれば多少値段が高くても買ってもらえる。それには、ひと手間をかけることが大切である。**』と述べられました。

第1回ポイントカード懇談会を開催！

9月14日(水)、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、「第1回ポイントカード懇談会」を開催しました。当事業は、ポイントカードを更に機能的に活用し、生活者支援へつながるような活動について、先進事例と参加者との懇談を行い、ポイント売上高の確保の方法について検討することを目的に実施しました。

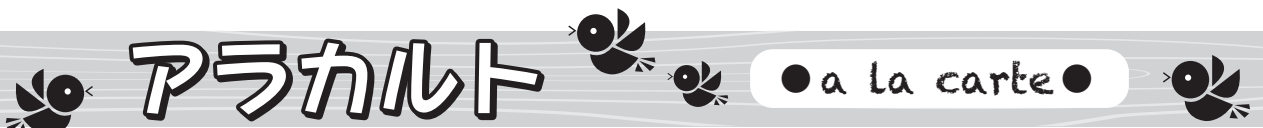


【懇談会の様子】

講演では、福島県の東北ジャイロ流通研究所小柳剛照所長を講師に、「今後のポイントカード事業の方向性について～生活密着型ポイントカード事業の構築～」をテーマに講演を頂きました。小柳所長は、『消費者はポイントカードに、便利・得する・楽しいを求めており、特に「楽しい」をいかに作っていくかが大事である。また、組合員の利用促進については、頑張っている店舗の売り上げを更に伸ばすこと。繁盛店を更に繁盛させ、成功事例を周りに見せつけることである。』と話されました。

引き続き行われた懇談では、①満点カードで市・町税等の支払いが可能となったが、まだまだ知名度が低く定着するには時間が必要である、②鹿角市内のポイントカード組合が連携し、わくわく健康ポイント事業を実施しており、受診や健康講座への参加に対してポイントを付与している、③お客様が誕生日に買い物をするすると端末機からメロディーが鳴り、ポイント3倍とするサービスを実施しており好評である、④ポイントの出し渋りをしている加盟店に対してカウンセリングを実施しており、ある程度の効果が出てきている等、参加者よりポイントカード事業の状況や問題点・課題等について、活発な意見交換が行われました。

今回は、「県内のポイントカード組合における広域的連携の在り方」をテーマに意見交換を行う予定です。



■大仙市との災害協定を締結

【大曲仙北電気工事協同組合】

大曲仙北電気工事協同組合(吉田利雄理事長)では、9月1日に大仙市と「水道局所管施設の停電対策に関する協定」を締結しました。協定は、平成22年3月に「災害時電気工事等応援協定」を締結したことがきっかけとなり実現されました。



協定を締結した吉田理事長(右)と
栗林大仙市長(中央)、小原大曲建設業協会会長(左)

東日本大震災発生時の大規模停電に伴い、大仙市の一部の地域では長時間に亘り断水し、市民生活に大きな影響を与えたことから、地震や台風等の災害発生に伴い大仙市の水道局所管施設が停電となった場合、自家用発電機による電源確保を図ることが目的とされています。配電盤から切り替えスイッチ及び電気系統一式に係る操作業務と稼働中の機器の保守管理業務を行うことになっています。

国の規制・制度改革について「国民の声『お聴かせください、あなたの想い』」 内閣府

内閣府では、規制・制度の見直しに取り組むため、行政サービスに接している国民の皆様から、おかしなルールの見直し(国の規制・制度の改革)につながる提案について広く募集しています。なお、募集期間は、10月14日(金)12:00まで(締切必着)です。

皆様の日常生活や仕事において関係の深い規制・制度について、

- ①国民に対する、多様で質の高いサービスの提供を妨げているものはないか
- ②新たな事業者の参入や、事業者の創意工夫を妨げるものはないか
- ③手続の煩雑さが負担になったり、ムダや非効率を生んでいるものはないか

という視点からの提案をお寄せください。

○「国民の声」の募集方法についてご質問がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

なお、電話による提案の受付は行っておりませんのでご了承下さい。

【国民の声担当】 ☎03-5501-2277(平日:月・木曜日 14:00~17:00)

中小企業向け雇用・労働関係情報(支援策等)ウェブサイトを開設

厚生労働省

厚生労働省では、中小企業を経営されている事業主の方、人事労務担当者の方向けに、基本的な労働法制度の概要、助成金などの支援策をご紹介します。是非、ご活用下さい。

○詳細につきましては、厚生労働省ホームページ(下記URL)をご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouseisaku/chushoukigyuu/index.html

ホームページソフトなどのリース契約はしっかり考えてから!

中小企業庁

中小企業庁では、中小企業の方が、リース契約をされる際の参考として、チラシ資料を作成いたしました。リース契約のポイントやよくある悪質セールストークについてご紹介しております。また、下記のような相談事例についての対応策をホームページにて紹介しております。是非、ご覧ください。

相談事例その1:「事業者間の取引に関しては、クーリングオフは適用されません」

相談事例その2:「リース契約の中途解約について」

○詳細につきましては、中小企業庁ホームページ(下記URL)をご覧ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/soudan/2009/090820LeaseThink.htm>

「助成金説明会・無料相談会」の開催について

秋田労働局

秋田労働局、秋田県、厚生労働省労働関係団体は、助成金制度をはじめ県内の厚生労働省関係団体が取り扱う助成金の説明会・無料相談会を下記のとおり開催します。是非、ご参加下さい。

| 会場 | 開催日 | 開催時間 | 開催場所 |
|--------|-----------|-------------------------|-----------------|
| 秋田会場 | 10月26日(水) | ○全体説明会 13:15~14:30 | 秋田県産業技術センター |
| 横手会場 | 10月28日(金) | | 横手市交流センター YYプラザ |
| 由利本荘会場 | 10月31日(月) | ○無料個別相談会 14:05~16:00 | 由利本荘地域職業訓練センター |
| 北秋田会場 | 11月 1日(火) | | 北秋田市交流センター |

○お申し込み・お問い合わせ先

秋田労働局職業安定部職業対策課雇用開発係

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番7号(東カンビル5階)

TEL: 018-883-0010 FAX: 018-865-6179

支援団体活動レポート

平成23年度第1回研修会を開催

～秋田県アパレル産業振興協議会～

9月14日(水)、秋田県アパレル産業振興協議会(佐々木繁治会長)の平成23年度第1回研修会が秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、開催されました。

研修会では、株式会社織研新聞社中村善春編集局本社編集部長を講師に、「アパレル業界の今後の見通しについて～国内生産の生き残りと海外生産の動向、各メーカーの動向について～」をテーマとした講演が行われました。



研修会の様子

中村氏からは、①日本のアパレル関連産業の市場規模の縮小、②インターネットショッピングによる顧客の購買動向の「イェナカ」消費への変化、③急激な経済成長を遂げた中国の「消費地化」、④商品の高付加価値化の必要性等について説明が行われましたが、特に『東日本大震災以降の世界の考え方は大きく変わった。90年代から現在までの合理化・効率化の延長線上に豊かさ(幸せ)はなく、これからは「絆」である。』と述べられました。



組合ティールーム

秋田県自動車車体整備協同組合

理事長 仙花 久彌さん

◎理事長としての抱負

現在、当組合では、「コンプライアンスの遵守」のため、組合員工場の「自動車分解整備認証工場」の取得を強く推進しています。また、組合独自の認定制度「ASOMsシステム」によりお客様の満足度の向上を図っています。これらの取り組みにより、お客様から信頼され、組合員工場が「すべてに選ばれる工場」となることで、員外工場との差別化が可能であり、入庫台数の増加にも繋がると考えています。

◎業界からの要望について

ハイブリット化やEV化等、自動車の構造や素材の変化への対応が求められます。そのためには、専用機材の調達が必要となりますが、価格も高額で、小規模事業者にとっては大きな負担となります。適切な整備の実施により、「お客様の安全・安心」を確保するためにも、設備投資が促進できるような融資制度の創出を望みます。

◎座右の銘について

『小さな自分に満足することなかれ!!』です。
今の自分に満足することなく、何事にも前向きにチャレンジしていきたいと思っています。

◎趣味について

以前は、ゴルフでしたが最近はプレイする時間がありません。今は、20代から始めた「カメラ」です。被写体は、主に風景ですが、唯一人物の被写体として孫達の写真を撮っています。一枚一枚コメントを付けるのが大変ですが、撮影時のエピソードを思い出しながら楽しく作業をしています。



秋田流通サービス事業協同組合

| | | |
|----------------|----------|-----------|
| ㈱出羽運輸 | 里見運送(有) | 合資会社塩喜運送 |
| 秋田第一貨物自動車㈱ | 千歳運送(有) | ㈱丸橋運輸 |
| 六郷小型貨物自動車運送(株) | ㈱秋田おぼこ運輸 | 姉崎商運(株) |
| ㈱三ウラ産業 | ㈱仙建 | 豊幸商事運輸(有) |
| 日通横手運輸(株) | ㈱藤原運送 | 横手運送(株) |
| 大曲小型貨物自動車運送(株) | 角間川運送(株) | 田沢湖運送(株) |
| 十文字運送(株) | エコー運輸(株) | 湯沢運送(株) |
| 川連運送(株) | ㈱岡部興業 | ※順不同 |

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299



東北オンリーワンの総合物流サービス企業

YOKOUN 横手運送株式会社

経営理念：総合物流事業を通じて地域社会に貢献します

〒013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 TEL.0182-32-3667 FAX.0182-32-5672
<http://www.yokoun.co.jp/>

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 宮崎真吾
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



“企業の挑戦を応援します”

株式会社 北日本リース

考えてみませんか？経営の次にあるもの…
設備資金・生命保険・損害保険・資産形成・相続・事業承継等
ご相談をお気軽にどうぞ!!

秋田市高陽幸町8-17 TEL 018 (883) 1888
FAX 018 (883) 1822
E-mail: njl@cna.ne.jp
ホームページ: <http://www.njl.jp/>



農業機械のことならクボタにおまかせ下さい。



クボタパワクロトラクタ



クボタ乗用田植機



クボタコンバイン

まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600



笑顔が繋ぐ 未来への架け橋
un sonrisa relacionar el puente al futuro cuándo

2011年7月4日
ホテルメトロポリタン秋田は
おかげさまで25周年を迎えました

ホテルメトロポリタン秋田

秋田市中通七丁目2-1 TEL.018-831-2222
<http://www.metro-akita.jp/>

ご存知ですか？ “出向と移籍で築く人と企業の安心ネット”を！

「やむなく人員削減を…」 「即戦力の人材確保を…」 と
お考えの企業の皆様へ

経済・産業団体、厚生労働省と連携して、
全国的なネットワークで出向・移籍のあっせんに努めています。

全国ネットの 人材情報

企業間の出向・移籍の
お手伝いを47都道府県の
事務所で行っています。



幅広いデータベース

ハローワークや経済団体などと連携し
豊富な人材情報を提供しています。

信頼と安心のかけはし

経済・産業団体と厚生労働省の協力で
設立された公益法人です。

相談等の費用は無料

情報の提供、相談、あっせんについての
費用はかかりません。

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

出向・移籍の専門機関



財団法人 産業雇用安定センター秋田事務所

〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル4F

TEL 018-823-7024 FAX 018-883-4215

※ホームページでのご案内 <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

ご利用時間

午前9時から午後5時
(土・日・祝日は休業)

中央会共済制度 オーナーズプランⅣ型

ステイタスM

無配当低解約返戻金型定期保険

BESTパートナー
三井生命

- 1 15年以上の保障準備とその後の資産づくりを両立**
・バランスの良いプランニングが魅力です。
- 2 2段階の低解約返戻金期間の設定で割安な保険料と確かな保障**
・割安な保険料で98歳までの長期にわたる保障をご用意いただけます。
- 3 各種制度を利用して「年金としてのお受け取り」「保障の終身化」が可能**
・死亡・高度障害保険金の全部を原資として、年金で受け取ることができます。〈ご契約者が法人の場合〉
・解約返戻金の全部または一部を原資として、年金で受け取ることができます。〈ご契約者が法人でも個人でも〉
・保険料のお払い込みを中止し、一生涯保障が続く払済終身保険に変更できます。〈ご契約者が法人でも個人でも〉

※商品内容の詳細は「ステイタス-M商品パンフレット」「ご契約のしおり-約款」「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社 〒100-8123 東京都千代田区大手町2-1-1 TEL.03(6831)8000(代表) <http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

C-21-0312(H22.1)

〔中央会共済制度引受会社〕

三井生命保険株式会社

従業員のご退職金のご準備に **特定退職金共済制度**

〔中央会共済制度のお問い合わせ先は〕

秋田支社 〒010-0921 秋田市大町1丁目3番8号

秋田営業部 TEL 018(863)1626 大曲営業部 TEL 0187(62)1337 大館営業部 TEL 0186(49)2459
本荘営業部 TEL 0184(23)2950 湯沢営業部 TEL 0183(72)3230 能代営業部 TEL 0185(54)2520

2011
10
Oct

中小企業あきた

平成23年10月1日発行(毎月1日発行)第617号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円